



ああ 出雲郷小は よいところ

本日で1学期が終了します

早いもので、本日で1学期が終了します。あだかえっ
たちと4ヵ月、共に過ごしましたが立派に成長しています。

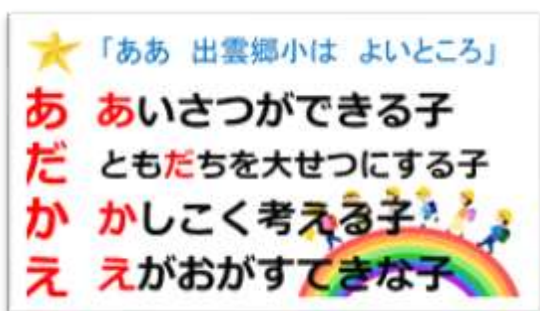
『こどもは成長する存在である』と言います。そういう成長

するこどもたちを見ることのできる教師という職業は幸せだとつくづく私は思います。2学期もど
のような成長ぶりが見られるのか楽しみでなりません。本校には四季折々の花が咲いています。同じ花でも
「早く開花する」「遅く開花する」花があります。こどもたちも早く成長する、ゆっくり成長する子がいま
す。私たちはこどもたちの「自立」に向けて取り組んで支援していくことが使命です。今を見ることが大
切ではなく、その子の将来を見据え、「自立」するには何が必要か考えていくことが大切だと思う今
日この頃です。私たち大人もあせらず、立ち止まって、ゆっくりとこどもたちの成長を見守ることも大切
だと思っています。こどもたちの成長がこの四季折々の花のように将来にわたってきれいに咲きほこ
るようになってほしいと願わんばかりです。

保護者の皆様、地域の皆様、日々のご支援ありがとうございます。これからも出雲郷小学校のこど
もたちを支えていただきたいと思います。

いよいよ夏休みです（終業式で話したこと）

本日終業式で話したことを皆様へお伝
えます。まずは、各教室掲示を行った
「あだかえ」のふりかえりを行いました。一



人ひとりに、10点満点中どのくらいできたか考えてもら
いました。「10点、9点、8点、7点以下」でそれぞれの
項目で手を挙げてもらいました。教育活動において「ふ
りかえり」というのはとても重要な活動です。足りない得
点をどう解決したらいいか？考えて行動する力を身に付
けてほしいものです。

次に、「命」「挑戦」の話をしました。一つ目の「命」につ
いてです。『2学期の始業式は9月1日です。この9月1日に、全校児童と先生方が出会うことが私
にとっての最大の喜びです。「命」を大切に、事故や事件に巻き込まれないように夏休みの生活をして
ほしいと話しました。二つ目は「挑戦」の話です。夏休みは毎年やってきますが、その学年の夏休みは
1回だけです。夏休みは約40日間あります。この夏休みにしかできないことがたくさんあると思ってい
ます。自分で「かしこく考え」、今の自分より、ちょっとせのびして何かに挑戦してみたらどうでしょう
か？校長先生は、こどもが小学生のころに「自転車の旅」と題して、毎年、こどもとどこかに自転車で
出かけていました。これも夏休みにしかできない挑戦でした。最後は宍道湖を一周しました。それも今
ではいい思い出になっています。ぜひ、何かに挑戦をしてみてください。』という話をしました。

おすすめ読書表彰



本を読もう
もっと本を読もう
もっともっと本を読もう

本校の図書館は、その運営を先生方や司書教諭、学校司書、図書委員会、図書ボランティアの方たちと進めています。7月に入り、おすすめ読書の表彰を行いました。おすすめ読書とは、各学年で指定した本を、すべて読んだら表彰する取り組みです。好きな本を読むことはとてもいいことです。私も好きな本があれば、その人の作品を読み続けます。しかし、こどもたちはそれだけではなく「おすすめの本」を読み、あたらしい世界に出合うことも必要です。本校では、6年間を通してこどもが様々なジャンルの本に出合えるようにしています。「かしこく考える子」は、読書でも自分の力をつけてくれると思います。校長室にて、指定した本をすべて読み終えたこどもたち一人ひとりを表彰しました。

写真のこどもたちは「本を読む」というすばらしいことをしました。すばらしいことをなすとげた「えがお」がすてきな11人です。本は、間接的に大きな世界、ミクロの世界とさまざまな

世界の旅に連れて行ってくれます。そんな空想の世界に導いてくれる本に感謝です。

上の言葉は、私の大好きなフレーズです。詩「世界は一冊の本」(長田弘さん)の一節のようです。あだかえっ子のみなさんもまだまだ時間があります。本を読もう。もっと本を読もう。もっともっと本を読もう。

一通の手紙から・・・寄贈をしていただきました

先月号も寄贈の話をしました。もう一つ寄贈していただいたものがあります。それは貸傘です。60本を出雲郷地区交通安全対策協議会様より寄贈していただきました。実は、それには理由があります。それは、一通のこどもの手紙から始まりました。以下は私にくれた6年生からの手紙です。

『今日の朝、登校してくる時に、新2年生の子が前の日に借りていた学校の傘と自分の傘を2つ持っていて、今日は雨も降っていたし、強い風もふいていて、大変そうだったので、学校の傘を持ってあげました。しかし、持つところを持った瞬間傘が開きました。よく見ると傘を閉じると「かちっ」となるところが小さかったので(さびてもいた)新しい傘を買った方がいいと思います。』

これを受けて、貸傘を見回すとそのほとんどが壊れていたり、こどもに合わないものであったりしました。確かに、なんとかならないかと思い公民館の方へ相談すると、出雲郷地区の交通安全対策協議会長へ話をさせていただき寄贈していただくことになりました。こどもの声も大切ですが、それを支えていただけることに感謝いたします。関係者の皆様、ありがとうございました。



演劇鑑賞会 (6月19日)

劇団トマト座のみなさんに来ていただき本校体育館にて、全校で「オズの魔法使い」を見ました。「オズの魔法使い」はとても有名な作品ですが、こどもたちの中には知らない子もいます。演劇をなかなか見る機会がありませんが、こどもたちは楽しんで笑ったり、拍手したりと楽しみました。